

平成28年度 第3回宮崎県河川整備学識者懇談会

= 指摘事項、意見と対応 =

1. 第2回河川整備学識者懇談会における指摘事項と対応	1
(1) 五十鈴川水系河川整備計画(案)	1
(2) 庄手川水系河川整備計画(案)	1
(3) 浦上川における治水対策の検討結果	1
(4) 浦上川の整備における環境への配慮の考え方	2
(5) 浦上川水系河川整備計画(原案)	3
2. 浦上川水系河川整備計画(原案)の住民説明会における意見と対応	4

開催日 : 平成29年 3月28日 10:00~12:00

開催場所 : 宮崎県庁附属棟 301会議室

1.第2回河川整備学識者懇談会における指摘事項と対応

(1)五十鈴川水系河川整備計画(案)

NO.	指摘事項	対応内容	頁	備考
1	・浦上川整備計画p.13にH28.9洪水の浸水面積が記載されているが、五十鈴川の本文には記載がないので、数値が分かれば記載いただきたい。	・H28年9月洪水に関して、五十鈴川の浸水面積の記載について検討する。	整備計画本文 p.16	

(2)庄手川水系河川整備計画(案)

NO.	指摘事項	対応内容	頁	備考
1	・p.11等の河川写真において距離数値を示す際に、数値に「k」を付けている場合と付けていない場合がある。表記を統一すべきである。	・本文河川距離表記を修正した。 → 1.1(7)河川景観及び河川利用 (整備計画本文p.11)に反映	整備計画本文 p.11	浦上川も統一

(3)浦上川における治水対策の検討結果

NO.	指摘事項	対応内容	頁	備考
1	・p.3 雨量データを示しているが、この観測所は流域内にあるのか。流域外の降雨を解析に用いる場合、流域の降水状況を適切に表していない可能性がある。 ・整備計画で決定した確率規模が適正であったか、策定後、流域内に雨量計を設置して検証する等の対応を検討することが望ましい。	・雨量観測所は流域外である。流域内に雨量観測所がないため、近傍観測所の雨量値を使用せざるを得ない。 ・今後の課題として整理する。	資料-2 p.3	
2	・p.12 2号橋も橋梁改築を実施するため、他橋梁と同様に旗揚げを行うこと。	・旗揚げを追記した。	資料-2 p.12	

1.第2回河川整備学識者懇談会における指摘事項と対応

(3)浦上川における治水対策の検討結果

NO.	指摘事項	対応内容	頁	備考
3	・2号橋付近を整備すると、流下能力が大幅に向上することが予測されるため、通常は下流側から整備するが、ネック箇所の整備効果も踏まえて整備順序を検討して頂きたい。	・整備方法や効果、順序については、今後効果的な整備方法について検討していく。	資料-2 p.12	
4	・県管理区間外上流の国道ボックスが流下能力上のネック箇所になっているが、整備計画では定義しようがない状況にある。県としてはどのような考えを持っているのか。	・国道管理者である国交省は県の整備進捗に合わせて整備する方針であるが、具体的な内容に関しては今後協議予定である。また、市下水道やJR等、関係者協議を継続していく。 ・2月16日に関係機関協議を実施し、県改修のみでは浸水被害を解消できない状況を共有した。	資料-2 p.14	

(4)浦上川の整備における環境への配慮の考え方

NO.	指摘事項	対応内容	頁	備考
1	・下水道の整備計画や状況はどうなっているのか。下水道整備が未完了の場合、完了後の河川への流入量や水質の変化は想定しているのか。	・浦上川流域の下水道整備はおおむね完了している。今後は接続率の向上に向けて関係機関との協議や情報共有を進めていく。 ・2月16日実施の関係機関協議において、懇談会意見を伝達し、今後の取組み実施をお願いした。		
2	・資料の地図方位が統一されていないため対比がしにくい。 ・2号橋付近の寄り洲に関しては、都市下水路側への移動等も踏まえて柔軟に整備方法を検討するべきである。	・本文は書面の関係上、北方向を右向きに記載しているが、説明資料の方位については北向きを上に統一した。 ・寄り洲区間に関しては、下水道側に寄り洲環境を創出する等、環境の移設を含めて柔軟に検討していく予定である。	資料-3 p.3,4等	
3	・p.11 保全の配慮事項に関して、記述と下部図面の対応番号に誤りがあるため修正すること。	・該当箇所記述を修正した。	資料-3 p.11	

1.第2回河川整備学識者懇談会における指摘事項と対応

(5)浦上川水系河川整備計画(原案)

NO.	指摘事項	対応内容	頁	備考
1	・庄手川と距離標の表記が異なっているため、表記を統一すること。	・本文記述、図表標記を修正した。 →1.1(1)流域及び河川の概要(整備計画本文p.1)他に反映	整備計画本文 p.1他	
2	・水質BOD値がAA類型基準値程度であるが、観測地点が入江に近い感潮域であるため、河川の水質を表しているかどうか疑問である。河川の基準を適応しない方が良いのではないか。	・現状では河口部のデータしかないので、本文に河口部のデータである旨を記載するとともに水質基準の記述を削除し、グラフも修正した。 →1.1(8)環境(整備計画本文p.11,12)に反映	整備計画本文 p.11,12	資料-3 p.14 に水質に関する記述を追記
3	・p.14 H24洪水時の写真矢印記載が分かりにくいいため修正すること。	・写真を変更した。 →1.2治水の沿革(整備計画本文p.14)に反映	整備計画本文 p.14	
4	・p.17 河川空間の利用における記述が不明瞭な箇所がある。「これらの良好な河川環境」とはどこを指すのか。 ・親水利用はないのか。今後創出するならば、「水辺空間の保全・活用」は「創出・活用」の方がよいのではないか。	・本文を修正した。なお、中流部の山付き区間等を良好な河川環境と考えている。 →2.2.2河川空間の利用(整備計画本文p.17)に反映 ・これまで河川利用に関しては確認されていないため、「創出・活用」に修正した。	整備計画本文 p.17	
5	・河川管理通路は整備するのか。	・整備予定である。ただし、山付き区間や、住居が隣接する区間もあるため、片岸のみの整備を予定している。		
6	・住民説明会では、下水道の接続率に関しても現状を説明し、接続率向上を促す努力が必要である。延岡市とも協議する必要がある。	・関係機関協議において、現状を共有し、延岡市に接続率向上への取り組みの協力をお願いした。 ・また、3月9日、土々呂コミュニティーセンターにて開催した住民説明会においても接続率向上による河川水質の向上をお願いした。		

2. 浦上川水系河川整備計画(原案)の住民説明会における意見と対応

【開催概要】

日時:平成29年3月9日(木) 19:00~20:15

場所:土々呂コミュニティーセンター(延岡市土々呂)

NO.	指摘事項	対応内容	頁	備考
1	・2号橋付近のネック箇所の整備による効果が大きいと考えられるため、整備順序を検討して頂きたい。	・整備方法や効果、順序については、今後効果的な整備方法について検討していく。		
2	・2号橋下流にポンプ場を設置してはどうか。	・河道整備のみで流下可能であるという検討の結果を得たため、基本的には河道整備を進める方針で今後検討していく。		
3	・延岡市と連携した整備をお願いしたい。	・関係機関協議において継続的に議論していく予定である。		
4	・上流の自動車学校付近でホタルを見たため、今後河川整備時に留意して頂きたい。 ・浦上川においてスッポンを確認したため、今後留意して頂きたい。	・今後、モニタリング調査の実施や、生息環境に配慮した断面設定等について検討していく。		